

共感による公共マネジメントパッケージ（概要版）

・人口減少や少子高齢化、情報化の進展、ライフスタイルの多様化など、社会経済情勢が変化する中、社会課題も複雑化、多様化し、行政に求められる役割が増加しています。

・人口減少が進む中にあっても地域力を高めるべく、第3次総合計画では、あらためて「公共」のあり方について見直しを進めることとし、「共感による参加型社会」（＝「これからの公共」）づくりの必要性を示しました。

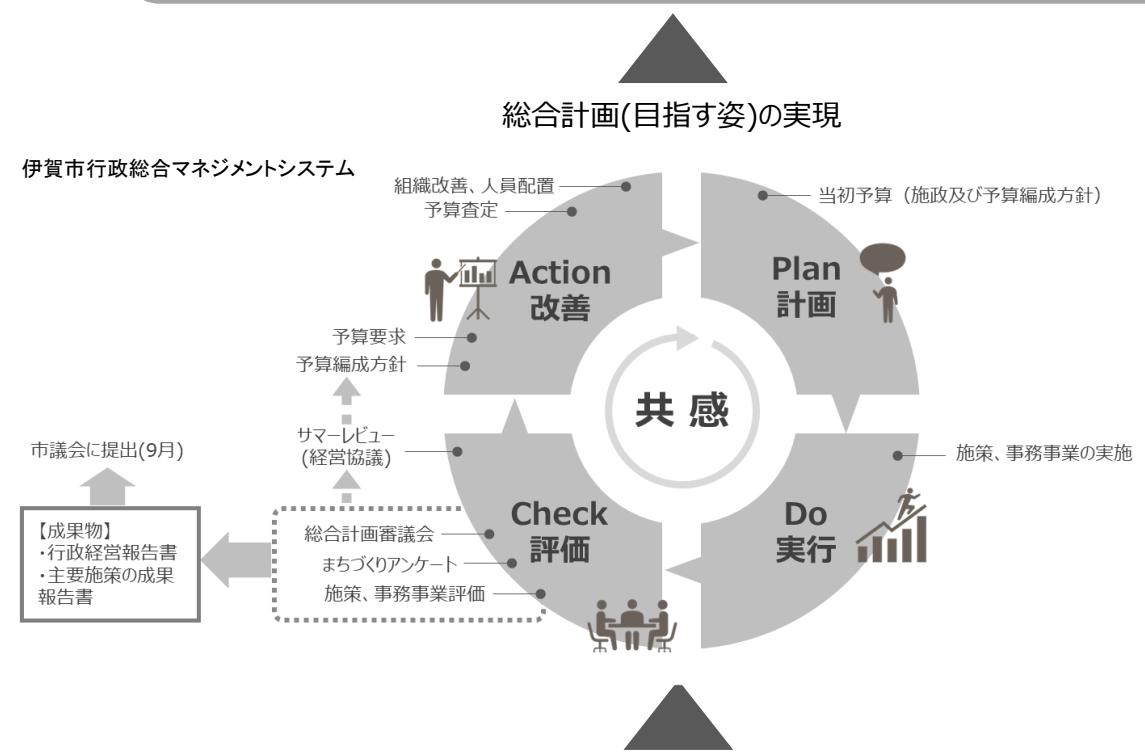
・行政経営資源（ひと・もの・かね）が減少する中、未来の世代にとっても、より良い社会を形成していくためには、さらなる行政経営改革に取り組み、限りある経営資源を有効活用し、時代の変化に対応した公共サービスを創出、提供していく必要があります。

・本パッケージは、本市が抱える問題と取り組む課題を整理し、目指す行政経営改革の基本方針を示す「行政経営改革を進めるための考え方」と、事務事業を効率的、効果的に展開するための支援ツールとなる「4つのガイドライン」をまとめたものとなります。

基本方針

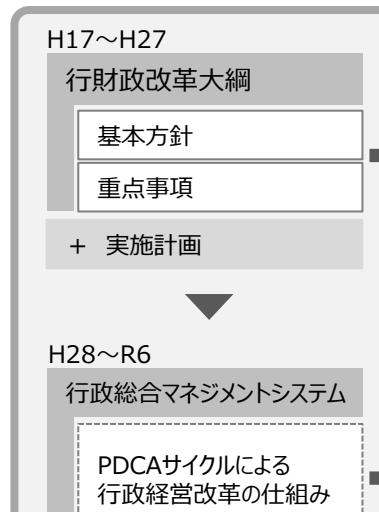
- ・共感による参加型社会が構築された、持続可能なまちをつくる。
- ・限りある経営資源を有効活用し、時代の変化に対応した公共サービスを提供する。

すべての ひとが輝く 地域が輝く



これまでの大綱との違い(本パッケージの特徴)

■これまで



■これから (R7～)

共感による公共マネジメントパッケージ

行政経営改革を進めるための考え方

- 基本方針
- 問題と課題の整理
- 効率的、効果的な事業展開のための**仕組みづくり**（支援ツール）
- 評価指標

+ 実行計画（4年間の重点取組）

効率的、効果的な事業展開のための4つのガイドライン

- 公共サービスにおける行政の役割に関するガイドライン
- 公民連携手法に関するガイドライン
- 市民等との情報共有に関するガイドライン
- 事務事業の評価と改善に関するガイドライン

事務事業を効率化、最適化し、PDCAサイクルの質を向上させ、成果を最大化

市が抱える問題と取り組む課題の整理

- ・社会的問題
- ・行政の構造的問題
- ・施策推進上の問題

これからの行政経営改革の視点の整理

- ・持続可能な行政経営
- ・共感による参加型社会の構築

仕組みづくり

- ・効率的、効果的な事業展開
- ・事務事業の改善を「考える」

評価指標の設定

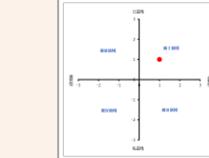
- ・市民満足度、参画度
- ・地方公会計による指標 等

「共通管理シート」の導入 ※事務事業の改善を「考える」仕組み

- | | |
|--|-------|
| 施策名 | 行政の役割 |
| 事務事業名 | |
| 基本情報 | |
| 事務事業評価 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・目的、問題、課題等 ・評価指標 ・目標値 ・決算情報 ・予算情報 ・市民等への情報共有等 | |

- | | |
|-------|--|
| 行政の役割 | 事務事業評価 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・評価指標 ・目標値 ・決算情報 ・予算情報 ・市民等への情報共有等 |

領域区分のチェックシート



事務事業の評価チェックシート

